

さらなる成長を目指し
テレビ東京グループは
4つの重点分野へ
投資していきます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
代表取締役社長

石川 一郎

Ishikawa Ichiro

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2022年度上半期は、コロナ禍から徐々に経済活動や人の動きが戻り始め一部の業種で景況感が上向きましたが、資源価格の高騰や年初来続く円安など経済の不安要因も続いています。

しかしこうした状況の中で当社グループの22年度上半期の連結売上高は実質的に過去最高に、連結営業利益、経常利益、純利益も歴代最高となりました。

当社グループでは5年前から放送事業だけに頼らない収益構造改革を進めてまいりました。22年度から3カ年の中期経営計画では「配信・アニメ」を成長のエンジンとして放送事業との相乗効果を発揮する「トライブリッド」戦略を掲げておりますが、これが功を奏した形です。なかでもアニメにつきましては海外での売上が好調で、特に米国、中国以外のアジア、欧州で売上を伸ばしました。

配当につきましては、前年と同じく一株につき15円とさせていただくことをご報告いたします。

さらなる成長を目指し、当社グループは新たに200億円の成長投資枠を作りました。現在の中期経営計画の最終年度である24年度末までに4つの成長分野への投資を実施する計画です。

一つ目はアニメ、配信の国内外の事業拡大です。11月にベトナムの映像配信サービス会社への出資を発表いたしました。また「Web3」「NFT」「VR」「メタバース」など新しい技術の研究開発・活用にも取り組みます。既にシンガポールのNFTゲームプラットフォーム運営会社への出資を発表しました。テレビ東京に新たな技術の知見をためることも目指しています。このほか、コンテンツ制作力をより一層強化するための投資も進めてまいります。さらに電子商取引（EC）事業の拡大も目指し、ゴルフ関連商品を扱うEC企業へのM&Aを発表しております。

人的投資も今後の重要な課題です。キャリア採用や社内でのリスクリングなどの研修を拡充し、特色ある強いコンテンツ集団としてのブランド力強化を図ります。

当社グループは収益構造の改革を一段と進め、企業価値の向上に一層努めて参りたいと思います。

引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。